

# I 一人ひとりの「生きる力」を育成する

## (1) 学ぶ意欲と確かな学力を育む教育の推進

	頁
アシスタントティーチャー配置状況	59
学力定着度調査対象者数	59

## (2) 豊かな心を育む教育の推進

人権尊重教育実施校	59
校外活動等への支援の決算額とその主な内容	60
外国人外国語学習指導補助者配置時間	60
中学校職場体験実施状況	60
学校図書館ボランティア登録者数	61
学校における環境教育の実施状況	61
平成26年度に学校で行った環境教育の内容について	61

## (3) 健康な身体や体力を育む教育の推進

小学校給食に係る主な運営経費など	62
中学校給食等の喫食数、扶助費、市費負担額の主なもの	62
中学校給食に係る主な運営経費など	63

## (4) 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実

特別支援学級在籍児童生徒数等の推移	63
特別支援学級在籍者数	64
特別支援教育 巡回相談の状況	65
特別支援学級指導補助員等配置状況	65
学校サポーター・特別支援教育ボランティアの登録状況	66
特別支援学級新規設置状況	66
小・中学校の不登校の児童・生徒数	67
平成26年度の不登校児童・生徒の学年別人数内訳	67
不登校関連機関の利用者数	67
平成26年度スクールカウンセラー配置状況	67
スクールソーシャルワーカー活用事業の実施状況	68
高尾山学園に在籍する児童・生徒の状況	68
高尾山学園人員配置状況	68

教育相談実施回数等	69
平成26年度 来所相談の内訳	69
日本語巡回指導補助者派遣状況	69
外国籍等児童・生徒の就学時支援者の派遣	70
日本語学級への通級児童数	70
日本語学級への通級生徒数	70

## (1) 学ぶ意欲と確かな学力を育む教育の推進

### アシスタントティーチャー配置状況

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
配置した学校数	20	19	19	19	22
配置した人数	20	21	21	19	22

### 学力定着度調査対象者数

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	4,882 (4年生) 4,872 (5年生)	—	4,722 (4年生)	4,661 (4年生)	4,554 (4年生)
中学校	—	—	4,314 (1年生)	4,409 (1年生)	4,387 (1年生)

※ 平成22年度で事業終了。平成24年度から新たな学力に関する調査を実施。

## (2) 豊かな心を育む教育の推進

### 人権尊重教育実施校

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
実 施 校	2校	2校	2校	2校	2校
	第三小 元八王子東小	第三小 元八王子東小	第三小 元八王子東小	第三小 元八王子東小	第三小 元八王子東小

### 校外活動等への支援の決算額とその主な内容

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	決 算 額 (円)	59,972,539	48,746,907	48,268,885	47,631,437	64,524,575
	社 会 科 見 学 バス運行台数	543	530	530	551	545
	姫木平自然の家 利用者数	2,190	2,123	2,256	2,898	3,002
	夕やけ小やけふれあいの里 利用者数	254	240	230	241	177
中学校	決 算 額 (円)	25,679,137	25,806,874	24,482,138	15,955,362	14,827,868
	姫木平自然の家など 利用者数	4,091	3,815	3,886	3,862	3,650
	夕やけ小やけふれあいの里 利用者数	0	0	0	0	0

### 外国人外国語学習指導補助者配置時間

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
中学校	14	12	11	11	11
小学校 (5・6年生)	16	18	17	17	17

※ 1学級当たりの平均派遣時間数/年

### 中学校職場体験実施状況

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
実 施 日 数	6 日 間	1	0	0	0	0
	5 日 間	4	4	6	5	3
	4 日 間	4	3	3	2	1
	3 日 間	25	26	27	26	34
	2 日 間	9	8	11	11	9
	1 日 間	0	0	0	1	3

※ 高尾山学園を含む全38校で実施している。

※ 2つの学年で別の日程で実施している学校は「2校」として集計

### 学校図書館ボランティア登録者数

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	学校数	36	33	33	33	37
	人 数	628	535	524	595	744
中学校	学校数	11	10	9	7	13
	人 数	79	81	75	70	130

※ 平成26年度から「学校図書館読書指導員」の名称を「学校図書館ボランティア」と改めた。

### 学校における環境教育の実施状況

(単位 校)

	内容項目	小学校5年				中学校3年			
		22年度	23年度	24年度	25年度	22年度	23年度	24年度	25年度
ごみ・資源	ごみ箱を燃えるごみ、燃えないごみ等に分けて設置し分別している	68	65	68	70	36	35	35	38
自然・生命	学校農園等で、花や野菜などの栽培活動を行っている	67	63	64	60	23	15	18	18
エネルギー・地球温暖化	地球温暖化やヒートアイランドについて学習している	57	48	49	52	23	31	31	32
	太陽光、風力等、新エネルギーの開発・利用について学習している	48	43	36	39	30	31	32	33
そ の 他	地域の関係機関・団体との連携を図った学習に取り組んでいる	43	39	40	41	14	16	11	14
	教科と関連付けて環境教育を実施している	59	51	70	70	26	27	38	38
	学校独自で環境教育に関する指導計画を作成し、活用している	36	33	70	70	15	14	38	38

### 平成26年度に学校で行った環境教育の内容について

(単位 校)

内容	実施学年								
	小学校						中学校		
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
資源の循環	25	26	41	67	58	52	23	19	18
自然や生命の尊重	60	60	60	63	64	61	31	26	27
生態系の保全	14	14	26	38	56	56	16	17	17
異文化の理解	13	11	17	23	48	58	17	14	28
共生社会の実現	16	17	22	33	41	49	12	17	23
資源の有限性	21	18	26	52	54	53	16	16	22
エネルギーの利用	11	10	19	39	52	54	16	22	23
生活様式の見直し	27	27	34	37	52	53	19	16	21
地球温暖化	9	9	16	36	57	59	17	19	28

※ 平成27年度教育課程編成及び平成26年度教育課程実施状況に関する調査より

**(3) 健康な身体や体力を育む教育の推進**

小学校給食に係る主な運営経費など

(単位 円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
消耗品等	47,470,358	51,038,229	40,952,710	41,826,010	48,065,969
修繕料	39,973,948	41,660,257	49,269,802	47,041,908	35,847,999
普通備品	36,910,419	32,410,980	9,912,561	8,731,695	7,545,960
高額備品	22,415,400	24,222,450	7,876,050	6,510,000	6,480,000
臨時職員賃金	106,066,612	102,116,987	99,705,724	79,022,872	60,539,278
	(82人)	(84人)	(81人)	(66人)	(43人)
給食費扶助費	176,066,887	(教育費) 176,925,935	175,281,660	169,585,596	164,081,424
		(民生費) 1,216,918			
給食調理 業務委託料	321,825,074	379,177,981	421,068,265	522,019,884	660,128,873
	(15校)	(18校)	(21校)	(26校)	(32校)

※ 平成23年度の給食費扶助費は、避難生徒に対して東日本大震災復旧事業として民生費で支給。

中学校給食等の喫食数、扶助費、市費負担額の主なもの

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
夜間中学生 の補食	喫食数	2,001	3,193	3,250	3,801	3,316
	市負担額(円)	500,250	798,250	812,500	950,250	829,000
中学校給食 親子方式の 試行	消耗品費(円)	—	—	4,030,721	373,929	104,414
	修繕料(円)	—	—	3,831,240	—	—
	役務費(円)	—	—	—	—	180,000
	備品購入費(円)	—	—	10,039,787	144,900	—
	賃金(円)	—	—	—	902,130	927,110
	運搬委託料(円)	—	—	—	5,329,923	5,860,188

※ 中学校給食親子方式の平成24年度経費は、平成25年度施行開始の準備経費。

※ 平成26年度執行の役務費は、平成28年度開始予定の親子方式の準備経費。

### 中学校給食に係る主な運営経費など

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
嘱託員報酬等 (円)	2,942,466	2,949,781	0	0	0
報 償 費 (円)	—	15,000	—	—	—
消 耗 品 等 (円)	701,578	944,059	822,605	1,244,091	1,244,091
修 繕 料 (円)	284,119	469,623	551,617	441,000	380,160
給食調理業務委託料 (円)	108,620,743	128,373,019	152,685,741	147,388,704	142,176,094
運用支援委託料 (円)	24,516,450	24,516,450	22,890,000	23,202,000	24,252,285
システム改修委託料 (円)	—	—	—	—	1,317,600
システム借上料 (円)	21,117,600	21,117,600	21,117,600	21,117,600	21,720,960
備 品 購 入 費 (円)	0	1,122,975	540,187	419,895	133,920
負 担 金 (円)	5,330,390	6,077,392	5,889,540	5,624,071	5,633,073
扶 助 費 (円)	36,050,752	(教育費) 38,130,564	40,938,176	40,931,874	42,887,418
		(民生費) 258,365			
喫 食 率 (%)	21.29	19.09	19.44	19.78	20.3

- ※ 報償費について、平成23年度は給食調理委託業者をプロポーザル方式により選考する審査委員に支給。
- ※ 扶助費について、平成23年度は避難生徒に対して東日本大震災復旧事業として民生費で支給。
- ※ 平成26年度、中学校給食システムを1か月の申込から1週間単位の申込等へシステム改修を行う。

### (4) 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実

#### 特別支援学級在籍児童生徒数等の推移

##### 【小学校】

(各年度5月1日現在)

年度	全児童数 (人)	在籍者数 (人)					設置学校数 (校)					学級数				
		固定		通級			固定		通級			固定		通級		
		知的	病弱	情緒	難聴	言語	知的	病弱	情緒	難聴	言語	知的	病弱	情緒	難聴	言語
16	29,068	159	—	126	11	114	11	1	4	1	3	25	1	14	1	7
17	29,385	174	—	145	15	114	14	1	4	2	3	27	1	16	2	7
18	29,531	210	—	155	11	109	15	1	5	2	3	33	1	18	2	7
19	29,586	227	—	174	12	121	16	1	6	2	3	34	1	19	2	7
20	29,662	266	—	208	13	129	17	1	6	2	4	39	1	23	2	8
21	29,648	294	—	230	12	140	18	1	7	2	4	43	1	25	2	9
22	29,567	314	—	227	11	170	18	—	9	2	4	47	—	27	2	10
23	29,215	328	—	262	12	170	19	—	9	2	4	49	—	30	2	10
24	28,835	311	—	306	10	154	20	—	10	2	4	49	—	31	2	10
25	28,660	331	—	365	9	161	21	—	11	2	4	48	—	38	2	10
26	28,386	318	—	427	11	160	21	—	14	2	4	49	—	46	2	10
27	28,164	329	—	466	11	165	21	—	16	2	4	47	—	53	2	10
16-27伸率	96.9%	206.9%	—	369.8%	100.0%	144.7%	190.9%	—	400.0%	200.0%	133.3%	188.0%	—	378.6%	200.0%	142.9%

## 【中学校】

(各年度5月1日現在)

年度	全生徒数 (人)	在籍者数(人)				設置学校数(校)				学級数			
		固定		通級		固定		通級		固定		通級	
		知的	病弱	情緒	難聴	知的	病弱	情緒	難聴	知的	病弱	情緒	難聴
16	13,077	108	—	19	15	8	1	4	1	16	1	4	1
17	13,099	123	—	25	9	8	1	4	1	20	1	4	1
18	13,303	141	—	33	7	8	1	4	1	20	1	4	1
19	13,451	147	—	36	7	9	1	4	1	22	1	5	1
20	13,670	153	—	47	8	9	1	4	1	23	1	6	1
21	13,768	183	—	56	6	10	1	5	1	28	1	8	1
22	13,692	179	—	67	7	11	—	5	1	28	—	8	1
23	13,773	196	—	81	6	11	—	5	1	30	—	10	1
24	13,733	203	—	90	7	12	—	6	1	31	—	12	1
25	13,854	223	—	93	8	14	—	6	1	34	—	11	1
26	13,781	228	—	110	7	14	—	7	1	34	—	13	1
27	13,706	230	—	136	8	14	—	9	1	34	—	17	1
16-27伸率	104.8%	213.0%	—	715.8%	53.3%	175.0%	—	225.0%	100.0%	212.5%	—	425.0%	100.0%

## 特別支援学級在籍者数

(各年度5月1日現在)

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
小学校	全児童数	29,567	29,215	28,834	28,660	28,386	28,164	
	特別支援学級 在籍者数	固定	314	328	311	331	318	329
		通級	410	444	471	535	598	642
中学校	全生徒数	13,692	13,773	13,734	13,854	13,781	13,704	
	特別支援学級 在籍者数	固定	179	196	203	223	228	230
		通級	77	87	97	101	117	144



特別支援教育 巡回相談の状況

【小学校】

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
授業観察及び担任などとの理解を深めるための話し合いの実施	280回	283回	294回	208回	197回
発達検査の実施	118	123	101	45	42
保護者との面談	208	191	295	163	131
その他	25	9	11	17	79
計	631	606	701	433	449
	(49校)	(52校)	(59校)	(60校)	(70校)

【中学校】

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
授業観察及び担任などとの理解を深めるための話し合いの実施	58回	56回	38回	40回	48回
発達検査の実施	26	28	19	13	13
保護者との面談	32	39	42	39	36
その他	8	1	6	0	42
計	124	124	105	92	139
	(22校)	(19校)	(17校)	(15校)	(38校)

特別支援学級指導補助員等配置状況

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	特別支援学級指導補助員(配置校)数	59人 (18校)	62人 (19校)	66人 (20校)	78人 (21校)	48人 (21校)
	校外活動付添員など(配置校)数	259人 (18校)	270人 (19校)	283人 (20校)	315人 (20校)	312人 (21校)
中学校	特別支援学級指導補助員(配置校)数	47人 (11校)	46人 (11校)	38人 (12校)	57人 (14校)	32人 (14校)
	校外活動付添員など(配置校)数	146人 (11校)	168人 (11校)	201人 (12校)	227人 (14校)	196人 (14校)
計	特別支援学級指導補助員(配置校)数	106人 (29校)	108人 (30校)	104人 (32校)	135人 (35校)	80人 (35校)
	校外活動付添員など(配置校)数	412人 (29校)	438人 (30校)	484人 (32校)	542人 (34校)	508人 (35校)

学校サポーター、特別支援教育ボランティアの登録状況

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
学校サポーター	310	317	306	375	518
特別支援教育ボランティア	363	328	215	171	340

特別支援学級新規設置状況

【小学校】

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度末 設置校数
知的障害 ( 固 定 )	—	1校	1校	1校	—	21校
情緒障害等 ( 通 級 )	2校	—	1校	1校	3校	14校
難聴指導 ( 通 級 )	—	—	—	—	—	2校
言語障害 ( 通 級 )	—	—	—	—	—	4校

【中学校】

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度末 設置校数
知的障害 ( 固 定 )	1校	—	1校	2校	—	14校
情緒障害等 ( 通 級 )	—	—	1校	—	1校	7校
難聴指導 ( 通 級 )	—	—	—	—	—	1校

### 小・中学校の不登校の児童・生徒数

年 度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	122	112	119	126	105	86	94	86	101	104
中学校	475	429	424	401	394	400	377	346	406	379
計	597	541	543	527	499	486	471	432	507	483

### 平成26年度の不登校児童・生徒の学年別人数内訳

小 学 校						中 学 校			計
1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
0	11	12	24	31	26	89	137	153	483

### 不登校関連機関の利用者数

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
高尾山学園在籍者	112	117	109	116	112
適応指導教室通級者	30	35	29	25	76
相談学級通級者	26	29	28	19	12
総合教育相談室不登校相談者	118	118	105	97	112

### 平成26年度スクールカウンセラー配置状況

区 分	配置校数	配置者数
スクールカウンセラー（都費配置）	108	108

※ スクールカウンセラーの配置者数は、延べ人数

※ 平成24年度まで市費で小学校に配置（平成24年度は8校に計8人）していた登校支援スクールカウンセラーについては、平成25年度から都費でスクールカウンセラーが全小学校に配置されたことに伴い、廃止した。

## スクールソーシャルワーカー活用事業の実施状況

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
訪問回数	学 校	423	537	555	581	401
	家 庭	158	752	647	640	431
	関係機関	76	268	290	283	297
	その他	15	9	1	0	12
合 計		672	1,566	1,493	1,504	1,141

※ 平成22年度事業開始

## 高尾山学園に在籍する児童・生徒の状況

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
年度末の在籍数(a)	112	117	109	116	112
不登校が解消した者の数(b)	33	38	56	49	76
登校意欲が高まった者の数(c)	61	53	40	53	18
不登校の回復率(b+c/a)	83.9%	77.8%	88.1%	87.9%	83.9%
年間を通じての出席率	68.0%	65.6%	72.1%	71.4%	67.1%

※ 不登校とは、病欠など、特別な理由を除き、年間30日以上欠席したもの(文部科学省基準)であり、年度途中の転学では転学する前から不登校扱いとなっている児童・生徒がほとんどである。

※ b：不登校による欠席が30日未満の児童・生徒数、c：不登校による欠席日数が年間30日以上であるが、登校日数が増えるなど登校意欲が高まった児童・生徒数

## 高尾山学園人員配置状況

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
心理相談員(※)	3	3	3	3	3
非常勤講師	4	4	4	4	4
青少年相談員	1	1	1	1	—
大学など外部指導員	3	3	3	2	8
学習活動指導補助員	11	9	9	8	11

※ 平成25年度までは、スクールカウンセラーとして高尾山学園に配置し高尾山学園での相談活動に従事したが、平成26年度からは、高尾山学園内に移転した登校支援チームに心理相談員として配置し、高尾山学園での相談対応を含め登校支援チームの業務に従事している。

※ 青少年相談員は、平成25年度をもって廃止。

### 教育相談実施回数等

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
相談実施回数	保護者	3,093	3,573	3,135	3,123	3,293
	児童・生徒	2,048	2,389	2,497	2,293	2,112
	学校等との連携相談	—	—	—	235	363
	計	5,141	5,962	5,632	5,651	5,768
電話相談件数		832	827	920	801	937
来所相談件数		410	413	366	362	382
新規相談件数		217	222	200	193	253

※ 平成25年度より、新たな項目として学校等との連携相談を設定した。

### 平成26年度 来所相談の内訳

対象者	内容別	発達知能学業	性格行動	進路適性	身体神経	教育一般	計
幼 児	(6)	(2)	(2)				(10)
	6	2	2				10
小 学 生	(84)	(64)	(4)	(4)	(11)		(167)
	119	92	4	4	17		236
中 学 生	(27)	(42)	(2)		(2)		(73)
	35	79	10		4		128
高 校 生		(1)					(1)
	1	4					5
そ の 他	(1)				(1)		(2)
	1				2		3
計	(118)	(109)	(8)	(4)	(14)		(253)
	162	177	16	4	23		382

※ ( ) は新規受付件数内訳

※ 平成25年度より、発達、知能学業を一つの大項目としてまとめる事とした。

### 日本語巡回指導補助者派遣状況（延べ人数）

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度
小学校	238	170	124	156
中学校	268	183	76	24
計	506	353	200	180

※ 平成25年度末で日本語巡回指導補助者派遣事業を廃止。

外国籍等児童・生徒の就学時支援者の派遣（延べ人数）

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	25	24	23	25	27
中学校	4	6	5	7	3
計	29	30	28	32	30

日本語学級への通級児童数

（各年度4月1日現在）

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
1年生	0	1	4	0	1
2年生	4	8	7	5	4
3年生	6	3	5	5	6
4年生	8	3	3	5	3
5年生	4	5	2	4	6
6年生	8	6	4	4	6
児童数合計	30	26	25	23	26
学級数	2	2	2	2	2

※ 各年度の児童数及び学級数は、翌年度4月1日現在の学級編制の数。

日本語学級への通級生徒数

（各年度4月1日現在）

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
1年生	9	7	9	3	0
2年生	6	9	2	7	9
3年生	6	8	12	3	9
生徒数合計	21	24	23	13	18
学級数	2	2	2	1	1

※ 各年度の生徒数及び学級数は、翌年度4月1日現在の学級編制の数。